

## 四宮神社 神楽祭り

10月9日、四宮神社(北木倉)で、秋季例大祭が行われました。例大祭では、四宮神社神楽保存会(坂本雅哉会長・20人)により、肥後神楽のうち「祓い神楽」「式神楽」「地鎮」と、乙女舞の「豊栄舞」「浦安舞」など、五穀豊穡や家内安全、健康祈願の舞踊が奉納されました。小学生から大人まで交代で奉納し、笛や太鼓の音に合わせた神楽の舞に見物客は終始見入っていました。坂本会長は「(神楽保存会に)若い世代が入ってきた。これからも地域の交流を大切にし、さらに盛り上げていきたい」と話しました。



浦安舞・扇を披露する会員たち

## 熊本震災復興記念美術展

10月12日～20日にかけて、町カルチャーセンターで第7回御船町美術・工芸協会主催の熊本震災復興記念美術展が開催されました。3年ぶりに開催された美術展には、町内28人の作家から出展された油絵・陶芸・能面などの幅広い個性ある作品が並び、期間中は約500人が訪れました。12日は、石村幸二さんと岩本康生さんによるミニコンサートが開演。作品に囲まれながら、会場に響き渡る歌声で観客を魅了していました。



1



4



3



2

- 1\_初日に行われたミニコンサート
- 2\_7\_作品を見る来館者たち
- 3.4.5.6\_復興を祈念する美術品
- 8\_故浜田知明氏作の「檻」



5



6



7

## しらかべ蔵で音楽会

10月13日、秋の夜長に音楽を楽しむ“しらかべ蔵音楽会”が街なかギャラリーで開催されました。しあわせ日和実行委員会主催で行われたこのイベントには、平成音楽大学生によるハイカラさんパレードや東日本の被災のときから活動しているピアニストの大羽洋子さんのコンサートが開催されました。主屋では、着物服デザイナーの渡邊泉さん(御船)の着物ドレス「迎羅紗 GALASHA」が展示されトークショーでは、会場を賑わせていました。外では、夕暮れマルシェが行われ、多くの人で“しらかべ蔵の秋の夜”を堪能しました。



2



1

- 1\_ピアニスト大羽洋子さんと平成音楽大学生が演奏披露
- 2\_着物服デザイナー渡邊泉さんがデザインした着物ドレスを着る御船のモデルたち

## 宮崎神社復活！再び地域の拠点に

10月7日、宮崎神社(陣・友永高広総代)で地震により被災した神社の落成式と同時に、3年ぶりとなった第33回陣カラオケ大会(陣青壮年会主催)が開催されました。このイベントは、地域の子どもから大人、消防団などたくさんの人たちが参加しました。神社の集会場を改良した特設舞台では、カラオケや日本舞踊などを披露。消防団などの出店では、多くの人で賑わいました。野口弘稔会長は「地域の力があつたから開催できた。今後もお互いを知り合える交流の場を大切にしたい」と話しました。



地域の集いの場所“宮崎神社”

## 若宮神社 通し物

10月9日、200年以上の伝統のある若宮神社(辺田見)大祭「通し物」が開かれました。「通し物」は1732年(享保17年)の御船川大洪水で若宮神社が押し流され、御神体が約9㌦離れた嘉島町の犬淵まで流された際、氏子たちが行列をつくり迎えに行ったことが起こりと伝えられています。化粧と晴れ着の少女2人が打ち鳴らす太鼓と三味線の音に合わせて、古謡「田の茂のうた」を歌いながら、約100人が町中心部を練り歩きました。



「田の茂のうた」を歌いながら町なかを練り歩く氏子たち

## 七滝中央小学校で大運動会

10月9日、七滝中央小学校(大竹紳一郎校長・85人)のみどりの芝生の運動場で大運動会が開催されました。今年のスローガンは「みんなで協力助け合い最後まで楽しむ運動会」。競技は地域住民も多くの人が参加、児童たちは芝生の運動場を駆け抜け、地域に伝わる伝統芸能を披露するなど、運動場には応援の声や歓声が響き渡りました。

- 1\_伝えよう!校区の伝統芸能1
- 2\_ころんでも、はしります!
- 3\_紅白対抗「綱引き」
- 4\_みんなおいでよ「御船音頭」
- 5\_みんなで協力!!大玉ころがし
- 6\_地域にかかれ元気の橋(組み体操)
- 7\_GOゴー5年生!
- 8\_光の速さを超えろ!!



5



4



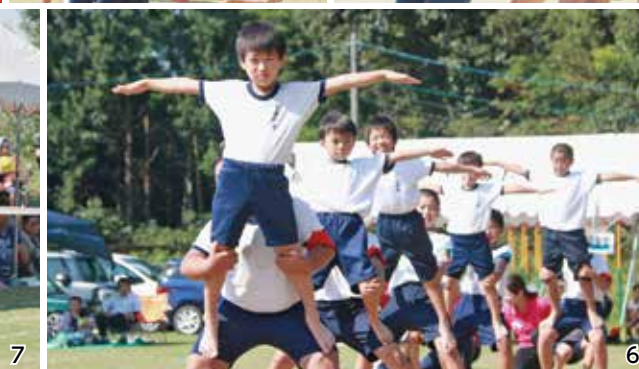
3



8



7



6